

札幌市医療的ケア児支援検討会 今後の進め方について

1 目的

医療的ケア児とその家族を地域で支えられるようにするため、保健、医療、福祉、教育等の医療的ケア児支援に関わる行政機関や事業所の担当者が一堂に会し、地域の課題や対応策について継続的に意見交換や情報共有を図る協議の場

【委員(任期2年)】

外部委員10人 … 大学教授(特別支援教育)、医師、医療・福祉・保育関係者、当事者
内部委員8人 … 保健所(母子・医療)、障がい福祉、保育、教育の係長職

2 昨年度の取組

関係機関の取組状況等を情報交換しながら、医療的ケア児やその家族の実態把握を進めてきた。

第1回(H30.6.12)	第2回(H30.7.31)	第3回(H30.9.5)
委員の自己紹介 関連事業の紹介 今後のスケジュール	外部委員の講演(医療、重複障がい) 外部委員からの情報提供 支援者養成研修の内容検討	外部委員の講演 (保育、当事者) 実態調査の内容検討
第4回(H30.11.20)	第5回(H31.3.19)	
外部委員の講演(訪問看護、相談支援) 実態調査の内容検討 胆振東部地震の報告	実態調査の結果報告 胆振東部地震の取組報告 今年度予算の概要	

3 提起された主な課題

- 各種サービス等の受入先の確保が難しい。
- 関係機関の連携が十分に取れていない。



- 子ども一人ひとりにふさわしい発達支援
- 保護者の付添い等の負担軽減

震災時の電源確保を始め、災害への不安が大きい。

4 今年度の実施方針(案)

- 引き続き課題の洗い出し、分析を進めていく。
- 札幌市の取組(モデル事業等)への助言を行う。



課題や施策の方向性について、集約・整理する。
<報告書の作成>

今年度の会議
(時期、内容等は変更の可能性あり)

第1回(7月)

前年度の検討会の振り返り
講演(特別支援教育)
札幌市の施策状況の報告
今年度の検討会の運営方針



第2回(10月)

外部講師による講演
市モデル事業の中間報告
施設見学(後日)



第3回(1月)

外部講師による講演
検討会報告書の検討



第4回(3月)

報告書案の決定
来年度予算の概要

5 その他

- 札幌市として継続的に施策の充実に取り組んでいく必要があることから、**検討会は来年度(次期)も継続**
- 次期については、取組課題に応じて内部委員の構成変更等も検討